

多摩川は今

2013年度川崎市多摩川プラン実施事業報告書

多摩区



高津区



中原区



幸区



川崎区



KAWASAKI CITY

2013 (平成25) 年度

川崎市多摩川プラン推進会議

イラスト：ニヶ領せせらぎ館付近

ごあいさつ

「川崎」という名称の由来は、「川の先」、すなわち多摩川の河口近くに本市の中央が位置していたことにあり、「川先」が後に現在の「川崎」に変化したもので、多摩川は川崎になくなくてはならないものであり、多くの恵みをもたらしてきた「母なる川」であります。

川崎市多摩川プランは「川とふるさとの再生、市民協働による多摩川ライフの創造」を基本理念に掲げ、「理解」・「整備」・「保全・活用」の3つの基本的視点から多摩川のあるべき姿を描いています。

2013（平成25）年度には、プランに定められた「重点エリア」である等々力・丸子橋地区周辺エリア（中原区）の整備に向けた取組みや、リーディングプロジェクトとして位置づけられた事業を中心に施策を推進してまいりました。

本書により市の取組を知っていただくとともに、多摩川へ足を運んでいただくきっかけとなれば幸いです。

2013(平成25)年度
川崎市多摩川プラン推進会議

基本理念

「川とふるさとの再生、市民協働による多摩川ライフの創造」

多摩川プランでは、「川崎の母なる川・多摩川」の魅力を含めた一人ひとりの市民が共有し、豊かな自然環境と多様な生命が共存しうる新しいライフスタイルを創造することを目指します。

また、総合行政の展開・推進を図るとともに、多摩川についてのさまざまな情報発信を行いながら、過去の多摩川の記憶を前提として、多摩川の未来を語りながら、多摩川の課題とあるべき姿、目指すべき方向性を共通のものとし、それぞれの主体がともに役割と責任を担い、市民、企業、行政が協働しながら、より魅力的で豊かな多摩川を持続的に育ていけるしくみづくりを目指します。

基本的視点

多摩川を『理解』する

- 多摩川の「これまで」の歴史を振り返る
- 多摩川の風景・ランドスケープデザインを考える

多摩川を『整備』する

- 市民に身近な集いの場として多摩川のさらなる利用を促進する
- 運動施設としての多摩川緑地を充実する

多摩川を『保全・活用』する

- 子どもたちの環境学習のフィールドとしての水辺を活用する
- 多摩川の持つ豊かな自然環境資源を活かす
- 多摩川流域での連携により多摩川を保全する

目次

多摩川を理解する

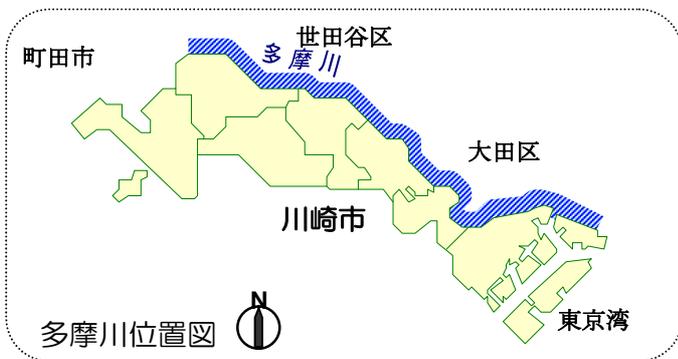
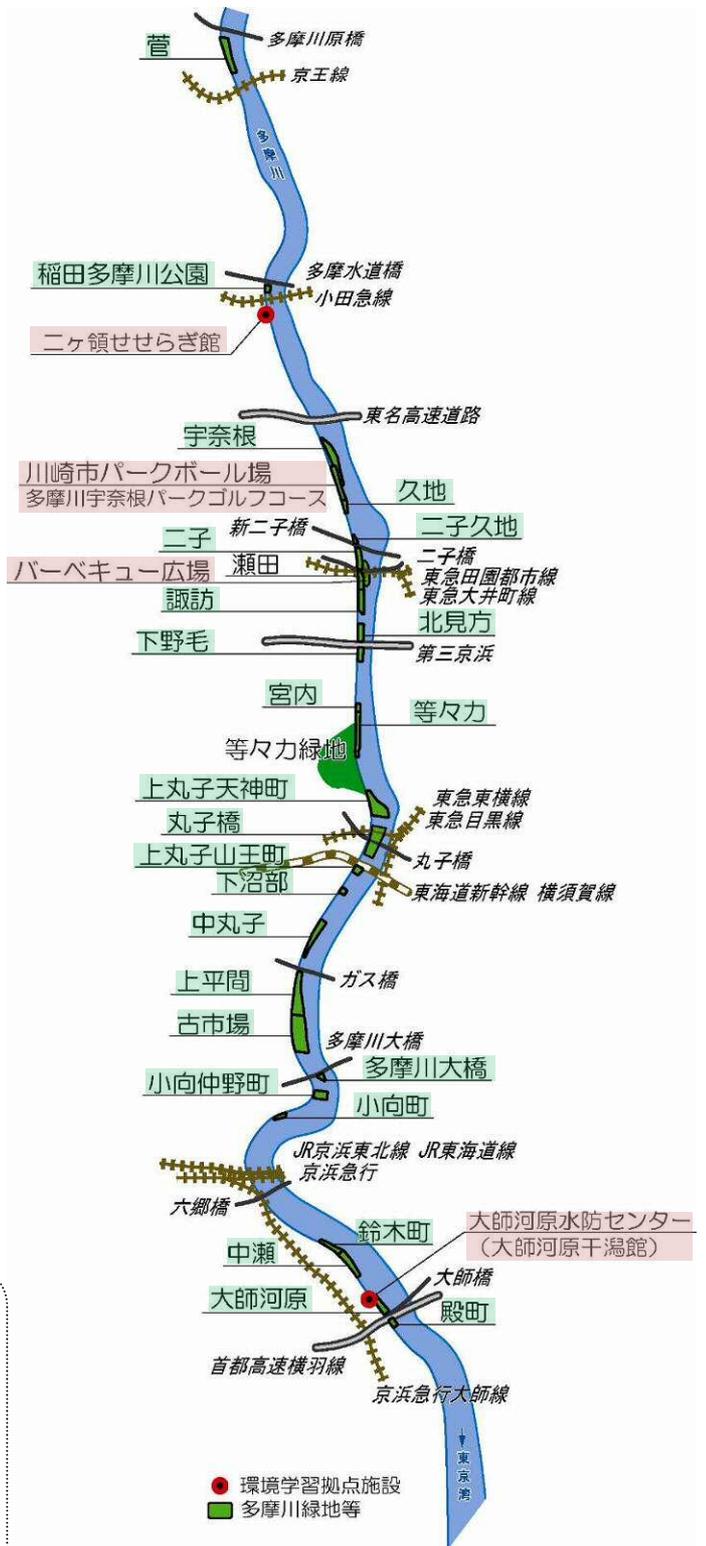
- 1 地域との協働による利用環境の向上 1ページ
- 2 情報発信拠点の充実 2ページ
- 3 多摩川流域セミナー 4ページ

多摩川を整備する

- 1 サイクリングコース実態調査 5ページ
- 2 サイン整備の推進 5ページ
- 3 重点エリアの再整備 6ページ
- 4 マラソンコースの再整備 6ページ
- 5 桜並木の整備 6ページ
- 6 バーベキュー問題の解決 7ページ
- 7 河川財団より3球場移管 8ページ
- 8 緑地の維持管理 9ページ
- 9 施設更新・補修 9ページ

多摩川を保全・活用する

- 1 環境学習の実施 10ページ
- 2 市内3校の水辺の楽校 10ページ
- 3 夏休み多摩川教室 10ページ
- 4 かわさき多摩川博2013 11ページ
- 5 企業と育む環境づくり 13ページ
- 6 スポーツイベントの実施 14ページ



1 地域との協働による利用環境の向上

東高津小学校の4年生が環境学習の一環として描いた多摩川についてのポスターを太平洋総業サービス株式会社（多摩川緑地バーベキュー広場指定管理者）と協力し、利用者のマナー向上に向けて掲示しました。

- ◇掲示期間 2013（平成25）年11月22日（金）～2014（平成26）年3月31日（月）
- ◇場 所 多摩川緑地 高津区瀬田地内 バーベキュー広場入口
- ◇出 展 川崎市立東高津小学校 4年生
- ◇協 力 太平洋総業サービス株式会社（多摩川緑地バーベキュー広場指定管理者）
- ◇枚 数 119枚
- ◇展示状況

○バーベキュー場にて



2 情報発信拠点の充実

川崎市では、多摩川に関する総合的な計画である「川崎市多摩川プラン」と「多摩川エコミュージアムプラン」を推進するために川崎市と市民団体が協働して管理運営を行っている情報発信拠点施設があります。それが「ニヶ領せせらぎ館」と「大師河原水防センター（大師河原干潟館）」です。また、2013（平成25）年4月にはリニューアルされた「かわさき^{せら}宙と緑の科学館」に多摩川の展示コーナーが新設されました。

●ニヶ領せせらぎ館（多摩区）



国土交通省京浜河川事務所が管理するニヶ領宿河原堰管理所の一部を多摩川の魅力を紹介する情報発信センターとして、1999（平成11）年3月に開館し、川崎市とNPO法人多摩川エコミュージアムが協働で管理運営を行っています。他にも環境学習など様々な市民活動が展開されています。

2011（平成23）年度 利用者 24,325名

2012（平成24）年度 利用者 24,680名

2013（平成25）年度（2月まで）利用者約 20,000名

◇場 所：多摩区宿河原1-5-1

◇アクセス：JR南武線・小田急線 登戸駅下車徒歩10分

◇開館日：月曜日を除く毎日（月曜日が祝日の場合は翌平日） 10:00～16:00
（6月～9月までの土日祝は17:00まで）※入場無料

◇問い合わせ先：044（900）8386

●かわさき^{せら}宙と緑の科学館（多摩区） ※平成25年4月リニューアルオープン



リニューアルにより新設された「多摩川の自然」展示コーナーの中には、かわさき水辺の楽校で捕獲されたマルタウグイの剥製なども展示されています。

●大師河原水防センター（愛称：大師河原干潟館）（川崎市）

多摩川の洪水時などの防災活動や自然環境、地域の歴史・文化などについて情報発信、下流域における環境学習を行う市民活動拠点です。国土交通省京浜河川事務所が管理する大師河原河川防災ステーションの一画にある大師河原水防センターの一部を利用し、平成20年1月から川崎市とNPO法人多摩川干潟ネットワークが協働して管理運営を行っています。

2011（平成23）年度 利用者 11,736名

2012（平成24）年度 利用者 12,819名

2013（平成25）年度（2月まで）利用者 13,000名

◇場 所：川崎市大師河原1-1-15

◇アクセス：京浜急行大師線 東門前駅下車徒歩7分

◇開館日：水曜日、木曜日、土曜日、日曜日、祝日 10:00～16:00 ※入場無料

◇問い合わせ先：044（287）7882（開館時のみ）



●新たな情報発信拠点

公益財団法人河川財団が2013（平成25）年10月から幸区古市場のスーパー堤防上に「多摩川交流センター」がオープンしました。ゴルフ場の受付と市民の交流・休憩スペースの機能を兼ねており、屋上からは美しい多摩川を眺望することができます。また、施設内の掲示板には、多摩川に関する情報などを河川敷利用者の皆様に向けて掲示しています。なお、多摩川を利用する方々を対象に利用者間の交流促進や河川利用の快適・利便性の向上などを目的に、公益目的事業の一つとして日本宝くじ協会の助成も受けて整備しております。

◇場 所：川崎市幸区古市場地先（御幸公園脇のスーパー堤防上）

◇開館日：開館時間（4月～10月：7:00～19:30、11月～3月：7:30～17:30）

（ただし、第1・3火曜日及び年末年始/12月31日～1月2日は閉館）

※入場無料



多摩川に関する情報掲示板

3 多摩川流域セミナー

多摩川流域自治体と河川管理者である国土交通省、市民団体、企業や学識経験者などで構成されている多摩川流域懇談会が主催する多摩川流域セミナーに川崎市も参加しました。今年度も「川づくりの輪」をテーマに開催しました。

●第41回多摩川流域セミナー（テーマ『まるごと多摩川まつり』）

◇日 時：2013(平成25)年10月20日(日) 10:00~15:00

◇場 所：ニヶ領せせらぎ館（展示室・会議室）および館前広場

◇参加者：約70名

◇内 容

- ・ 学生研究発表
- ・ ディスカッション
- ・ パネル展示
- ・ 多摩川もの知り検定 など



パネル展示など様々な催しが行われました

多摩川に関する情報誌（参考）



多摩川流域の水と緑の情報誌
エコ・たまがわ No.93



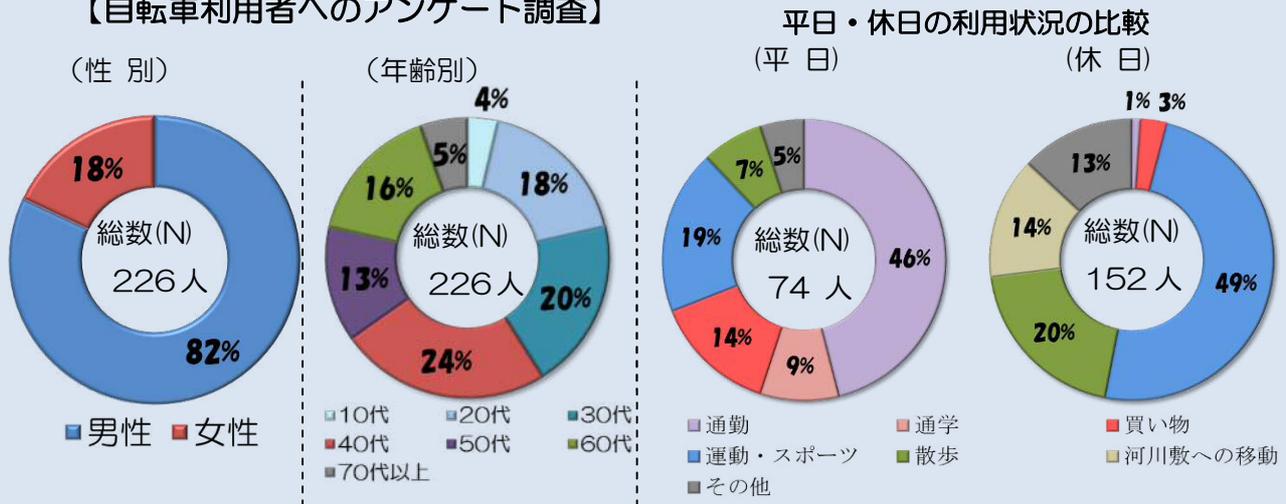
ひがたかんタイムズ 第32号



1 サイクリングコース実態調査

川崎市は、2012（平成24）年から神奈川県が管理していた多摩川サイクリングコースを移管しました。今後、市民が快適に利用できるように、昨年度は基礎調査として、コース上にある構造物及び路面表示などの位置を調査しました。今年度においては、10月下旬に実態調査として自転車歩行者の交通量調査、走行速度調査、及び自転車利用者へのアンケートを行いました。これらを踏まえ、今後のサイクリングコースの利用ルールについて検討を行っていきます。

【自転車利用者へのアンケート調査】



2 サイン整備の推進

多摩川へのアクセスや利便性向上に向けて、2008（平成20）年度に策定した川崎市多摩川サイン計画に基づき、サインの整備を進めています。2013（平成25）年度までに設置したサイン看板は12基設置しております。

年度	基数	種類
平成21年度	1基	総合案内板
平成22年度	2基	アクセス誘導サイン、総合案内板
平成23年度	2基	アクセス誘導サイン、情報発信板、利用案内板
平成24年度	5基	総合案内板（2基）、周辺案内板（3基）
平成25年度	2基	施設案内板、利用案内板

【今年度のサイン看板図面（宇奈根地区周辺エリア）】



施設案内図

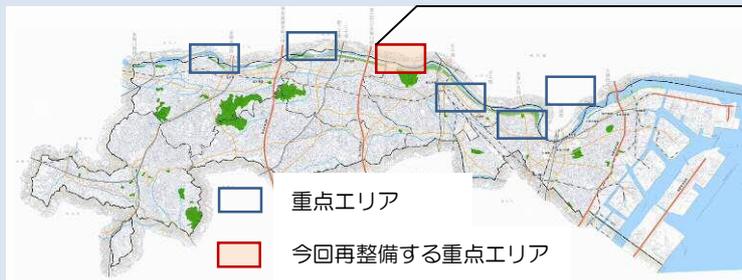


利用案内図

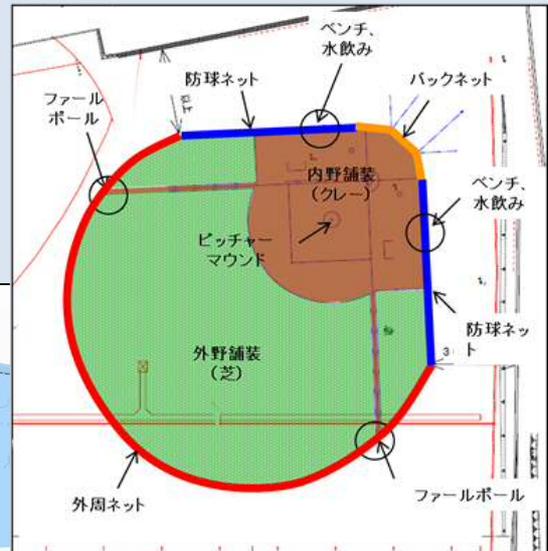
3 重点エリアの再整備

重点エリアの再整備として、市民の皆様の意見を踏まえ、2012（平成24）年12月に「整備計画改訂版」を策定し、今年度から野球場の整備を開始しています。完成後は、多摩川緑地最大級の硬式可能な野球場となります。旧日ハム球団グラウンド跡地（中原区上丸子天神町地内）は、2011（平成23）年5月に川崎市管理となりました。

等々力・丸子橋地区周辺エリア



整備内容



4 マラソンコースの再整備

1996（平成8）年に完成したマラソンコースですが、経年劣化や多摩川の増水等により舗装が傷んできていることから、2009（平成21）年度より、特に傷みの激しい箇所を中心に改修しています。マラソンコースは緊急用河川敷道路を利用して設置しているため、管理用車両の通行と周辺環境に配慮し、舗装の材料に木質系セメントを使用しています。2013（平成25）年度には、コース地内延長300mの改良・補修工事を行いました。これまでに改修予定延長予定約2200mのうち1540mの改修が完了しておりますが、現在も水溜り等がところどころにあるため、今後もコースの改良を進めていきます。

5 桜並木の整備

多摩川プランでは桜並木などの復活を推進施策に位置づけています。堤防上は狭いところが多く、植樹できる場所も限られますが、スーパー堤防の整備や沿線市街地の整備などにより、幅が広がったところには順次サクラを植えています。

昨年度から引き続き、殿町3丁目地区では、川崎南ライオンズクラブの皆様から、オオシマザクラを寄贈していただき、今年度においては、11本を新たに植樹しました。2013（平成25）年度までに40本の植樹を行いました。

6 バーベキュー問題の解決

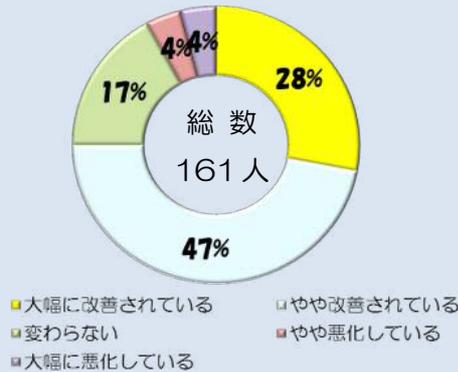
高津区瀬田地区におけるバーベキュー、花火、騒音、及びゴミ問題を解決するために、包括的に占用を行い、2010（平成22）年9月の社会実験を経て、2011（平成23）年4月に開設されたバーベキュー広場は、2012（平成24）年4月から民間事業者（指定管理者）による管理運営を開始しております。また、今年度のバーベキュー利用者数は大幅に増加しています。（2011(平成23)年度：115,716人、2012(平成24)年度：150,353人、2013(平成25)年度：170,935人、2013.1.31 現在）ただし、駅周辺等の迷惑行為については、指定管理者によるマナー啓発を行うなど引き続き改善に向け取組を進めます。なお、バーベキュー広場の管理運営をするにあたり、電気が必要であることから自然エネルギーを活用したソーラーパネルを設置しました。



ソーラーパネル設置

【平成25年度近隣住民へのアンケート結果】

問. 有料化以前の状況と、今年度（指定管理者導入2年目）の様子を比較し、バーベキュー利用者からの迷惑行為はどのようになったと感じていますか。



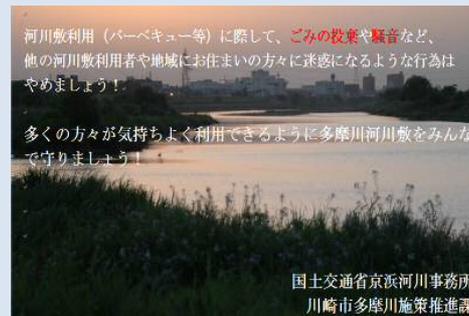
指定管理者による駅周辺のごみ拾い

●丸子橋周辺地区のバーベキュー問題

丸子橋周辺のバーベキュー問題について、バーベキューに関する連絡会を開催し、関係者（地元町内会、東京都、東急電鉄、国土交通省等）とともに丸子橋周辺河川敷におけるバーベキュー利用のあり方について意見交換を行ってきました。今年度の取組として、第2回連絡会議を開催し、主な活動としては、バーベキューで賑わうゴールデンウィーク中に丸子橋地区で現地視察、地元の商店に河川敷でのバーベキューについてのポスターを掲示し、利用マナー及び迷惑行為防止の啓発を促しました。



現地視察の様子



利用マナー及び迷惑行為防止の啓発ポスター

7 河川財団3球場の移管

川崎市は、これまで公益財団法人河川財団が占有管理していた丸子野球場、諏訪第1、第2野球場の3球場を2014（平成26）年3月31日限りで撤退することを受け、2014（平成26）年4月1日から新たに占有し球場名を変更し管理運営を開始します。

【名称変更】

- 丸子野球場→上丸子天神町第4球場
- 諏訪第1野球場→北見方第1球場
- 諏訪第2野球場→北見方第2球場

【一般野球場（軟式及びソフトボール）】
 ※申込み：「ふれあいネット」
 （川崎市公共施設利用予約システム）
 ※使用料：2時間 500円
 （※ふれあいネットHP：
<https://www.fureai-net.city.kawasaki.jp>）



位置図



8 緑地の維持管理

運動公園として、安全快適に利用していただくため、定期的に草刈やグラウンド整備を行っています。一方、広場ではカマキリやバッタなどの小さな生き物の棲みかとなるよう草むらを一部刈り残す配慮をしており、メリハリをつけた維持管理を行っています。



草刈の様子

9 施設更新・補修

老朽化したバックネットなどを素材の軽いものにし、緊急時に転倒作業を迅速に行うための構造の改良を進めています。また老朽化した水道管の更新や駐車場の舗装補修などを行っています。

更新・補修前



更新・補修後



(ベンチ補修)



(落書き消し)

1 環境学習の実施

川崎市では、市民団体が協働して管理運営を行っている情報発信拠点施設及び多摩川の環境学習の拠点施設であるニヶ領せせらぎ館、大師河原水防センター（大師河原干潟館）で、年間を通じて市内外の小中学生や学生などが多摩川の自然や歴史などについて学んでいます。

●ニヶ領せせらぎ館での環境学習

実施回数 …26回
参加人数 …約1,265名 } (4月～1月まで)



館内の水槽掃除などの職業体験

●大師河原水防センター（大師河原干潟館）での環境学習

実施回数 …37回
参加人数 …約2,222名 } (4月～1月まで)



学年単位での受け入れもありました

2 市内3校の水辺の楽校

「水辺の楽校」とは「水辺で楽しみながら学ぶ学校」のことで、川遊びをしたり、生きものや植物などを観察したりしながら、実体験を通じて多摩川の自然への理解とその保全について学びます。多摩川流域では、20校運営されており、川崎市内では「かわさき」「とどろき」「だいし」の3校が多摩川の各水辺の特徴を活かしながら、月1回程度という頻度で活発な活動を行っています。

●かわさき水辺の楽校（多摩区）

主なフィールド …多摩川護岸およびニヶ領用水周辺
参加者 …約900名（平成26年1月現在）
活動内容 …魚つかみ、ワンド清掃、凧上げ、など



魚つかみ体験の様子

●とどろき水辺の楽校（中原区）

主なフィールド …等々力地区の魚らん川
参加者 …約2,000名（平成26年1月現在）
活動内容 …ガサガサ体験、源流体験、草木染め、など



ガサガサ体験の様子

●だいし水辺の楽校（川崎市）

主なフィールド …大師河原地区の河口干潟
参加者 …約500名（平成26年1月現在）
活動内容 …干潟体験、ハゼ釣り、つるあみ、など



干潟体験の様子

●多摩川水辺の楽校シンポジウム

多摩川水辺の楽校シンポジウムでは、日ごろの活動で学んだことや調べたことを、子どもから大人まで、それぞれの目線で発表します。他に、多摩川の情報を知ることができるパネル展示や多摩川クイズなども行います。

- ・日 時：2014(平成26)年 2月22日(土)
- ・場 所：エポックなかはら(川崎市中原区)
- ・参加者：約180名
- ・主催者：多摩川水辺の楽校実行委員会・川崎市域水辺の楽校推進協議会



(昨年多摩市で開催)

3 夏休み多摩川教室

小中学生を対象に、多摩川と様々な形でふれあうことにより、多摩川の水質や自然環境、防災等について興味や関心を深め、多摩川の自然を研究するきっかけやその保全について考えてもらえるように毎年「夏休み多摩川教室」を開催しています。多摩川の魚とのふれあい、水生昆虫の観察、降雨体験車による豪雨体験といった災害の体験コーナーなど、様々な催しが開かれています。

- ・日 時：2013(平成25)年 7月24日(水)
- ・場 所：東京都調布市(多摩川河川敷)
- ・参加者：約300名
- ・主催者：多摩川流域協議会



暑い中、こどもたちは元気に多摩川とふれあい学びました

4 かわさき多摩川博2013

いかだ下りやシンポジウムなどのイベントを行いながら1年を通して、多摩川の魅力・情報を発信する事業を「多摩川博」と総称しています。昨年度に引き続き「多摩川の多面性」をテーマに、NPO法人多摩川エコミュージアムや水辺の楽校と川崎市が協働で実施しました。

●多摩川桜のコンサート

桜の開花時期に合わせて、ニヶ領せせらぎ館前広場で行うコンサートです。

- ・日 時：2013(平成25)年4月6日(土) 13:00~16:00
- ・場 所：ニヶ領せせらぎ館前広場【多摩区】
- ・参加者：約300名
(雨天により、せせらぎ館内で実施)



昨年度は桜満開の中でのコンサートでした

●合同河口干潟観察会

子どもを対象に生きもの探しなど、3校水辺の楽校合同の干潟体験イベントを行いました。

- ・日 時：2013(平成25)年5月26日(日) 10:00~13:00
- ・場 所：多摩川河口干潟【川崎区】
- ・参加者：120名



広大な干潟でたくさんの生きもの観察

●エコ★カップいかだ下り

公募参加による廃材等のエコな材料で作った、個性豊かな手作りいかだによる、多摩川下りのイベント。多摩川の自然と直接ふれあい、環境も考えてもらうことを目的に開催しました。

- ・日 時：2013(平成25)年9月7日(土) 10:00~13:00
- ・場 所：ニヶ領せせらぎ館下から県立多摩高校裏手の多摩川【多摩区】
- ・参加者：24チーム、計80名乗船 観覧者：約300名



趣向を凝らしたいかだが多摩川を下りました

●みずウオーク川崎大会 (台風の影響により中止)

「水辺の自然を楽しみながら健康づくり」を目的に読売新聞社との共催で実施しています。また今年度初めて東京都の【多摩川ウォーキングフェスタ】との同時開催として、イベントブースを共有しながら盛大に実施予定でしたが、台風の影響によりやむなく中止しました。

●シンポジウム2014

「人をつなげる森と川」をテーマに多摩川博の活動報告や多摩川における市民活動、源流の大切さ、多摩川から学ぶことなど焦点に基調講演やパネルディスカッションが行われます。

- ・日 時： 2014(平成26)年2月28日(金) 18:00~20:30
- ・場 所： 多摩市民館大会議室【多摩区】
- ・参加者： 約120名程度



5 企業と育む環境づくり（企業との連携事業の実施）

多摩川プランは、市民・企業・学校・行政それぞれが連携して進めています。その特徴的な取組のひとつが、多摩川での植物調査です。富士通株式会社の携帯フォトシステムを活用し、水辺の楽校などの市民団体が調査を行っています。位置情報が自動的に添付されることから資料の作成が簡単に行えます。調査の対象は多摩川で比較的容易に見ることができる「花」です。季節ごとに植物の分布状況の調査を行い、今後の環境学習に活かせる資料をつくることを目指しています。

●多摩川 GPS 植物調査（かわさき多摩川博事業）

- ・開催日：2013(平成25)年4月13日(土)、9月22日(日)、11月23日(土)ほか
- ・参加者数：延べ約110人
- ・場 所：多摩川土手および河川敷（川崎市域約28km）



6 スポーツイベントの実施

●多摩川カヌー教室

- ・開催日：2013（平成25）年7月28日（日）
- ・参加者数約149人
- ・内容：カヌー体験
- ・（カヌー基礎知識講習、カヌー操作方法等の水上講習）
安全講習（救急法講習）



●川崎国際多摩川マラソン

- ・開催日：2013（平成25）年11月17日（日）
- ・参加者数6,875人
- ・会場：川崎市等々力陸上競技場（スタート、フィニッシュ）
- ・コース：多摩沿線道路及び多摩川河川敷マラソンコース
- ・種目：ハーフマラソン等



●多摩川リバーサイド駅伝 in 川崎

- ・開催日：2014（平成26）年3月23日（日）開催予定
- ・会場：川崎市古市場陸上競技場
- ・コース：多摩川河川敷マラソンコース
- ・種目：ショートの部（中学生以上）
キッズ・ファミリーの部（小学生以上）
ロングの部（高校生以上）



多摩川は今
川崎市多摩川プラン事業実施報告書
2013

発行：2014（平成26）年3月
川崎市多摩川プラン推進会議

事務局：川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課
〒210-8577
川崎市川崎区宮本町1番地
電話：044（200）2265
FAX：044（200）7703
E-mail：53tamasu@city.kawasaki.jp